



進取の精神で全国へ挑戦する女性剣士

水野 ななこ さん



PROFILE

みずの ななこ (18・大山区)
榛原高3年。剣道三段の実力。小柄な体格だが、パワーのある剣道を魅せる。

28年ぶり県高校総体優勝

榛原高等学校の剣道場。体格が大きく力も強い男子部員に交ざっても、見劣りしない剣さばきを見せる女性剣士がいた。6月に開催された県高校総体剣道女子個人戦で優勝を飾った水野ななこさんだ。榛原高校の女子剣道の歴史でも昭和62年以來の快挙だ。

県高校総体では、2回戦以降の全ての試合が延長戦になった。集中力を切らさず、どちらが勝ってもおかしくない紙一重の戦いを制し、勝ち上がった水野さん。「試合当日は気持ちが高ぶっていたが、緊張することなく心がとても落ち着いていた」と振り返る。念願の優勝を果たし、全国高校総体への切符を手にした。

絶対に負けたくない

小学5年から父親の影響で剣道を始めて8年目。最初は怖いと思った剣道も小学生時代にお世話になった指導者らのおかげで、しだいに楽しくなってきたという。

「とにかく試合で負けるのは嫌い。男性にも負けたくない」と水野さんは話す。中学

に入ると持ち前の「集中力の高さ」と「負けん気の強さ」で剣道の腕前に磨きが掛かった。過去に4度の全国大会出場をかけた団体戦があったが、全て準優勝で終わったという悔しい結果も技術向上を後押ししてきた。また、今年の3月頃から良い「面」が打てるようになったことも、勝負幅が広がったのではないかと。高校最後の大会ということで「絶対に負けたくない」という思いから気力も高まった。心技体が整ったことが強さにつながった。

全国でも思いは変わらない

8月の全国大会で目指すはベスト8。レベルの高い大舞台でも負けたくない気持ちは変わらない。

「剣道は、力ではかなわない男性や強い相手にも勝てたりすることが魅力。団体戦を通じて仲間との絆も深めることができる」と語る。水野さんは「小中高と良い指導者と両親が常に支えてくれた」と感謝の気持ちも忘れない。

彼女の高みを目指す強い信念と誰にも負けない姿勢で、全国での活躍を期待する。